

既婚者向けマッチングアプリの利用実態 とトラブルに関するアンケート

調査概要

項目	内容
調査名	既婚者向けマッチングアプリの利用実態とトラブルに関するアンケート
調査主体	当サイト独自調査
調査対象	既婚者向けマッチングアプリの利用経験がある男女
調査期間	2026年3月1日～2026年3月15日
調査方法	インターネット調査（クラウドソーシングサイトを利用）
調査人数	300名
調査対象者 性別	男性165名、女性135名
調査対象者 年齢	20代～50代以上

調査対象者 地域	全国
----------	----

※本調査は当サイト独自調査です。

アンケート調査結果

1. アプリを利用した際の年齢層を教えてください。【単一選択】

選択肢	回答数	割合(%)
18～24歳	4人	1%
25～29歳	48人	16%
30～34歳	96人	32%
35～39歳	84人	28%
40歳以上	68人	23%
合計	300人	100%

【解説】

既婚者向けマッチングアプリの利用層は、30代が全体の6割を占め、次いで40歳以上が2割強と続く結果となりました。

10代～20代前半の利用はごくわずかであり、結婚から数年が経過し生活に落ち着きが出始めた30代以降の利用者が圧倒的多数であることが分かります。

男女ともに、家庭以外の繋がりや癒やしを求める傾向が30代以降から強まることが推測されます。

2.「やばい」と感じた経験がある、または利用したアプリはどれですか？【複数選択】

選択肢	回答数	割合(%)
既婚者クラブ	112件	28%
Cuddle(カドル)	96件	24%
Healmate(ヒールメイト)	72件	18%
ワクワクメール	56件	14%
MarriedGo(マリーゴー)	32件	8%
その他・特にない	32件	8%
合計(延べ回答数)	400件	100%

【解説】

利用者数が多く知名度の高い「既婚者クラブ」や「Cuddle(カドル)」に回答が集中しました。

利用者が多い分、良くも悪くも様々なユーザーと遭遇する確率が高まるため、結果としてトラブルや違和感を覚える経験も比例して増える傾向にあると言えます。

一方で「特にない」という回答も一定数あり、安全に利用できている層も存在しています。

3. アプリ内で遭遇した、または見聞きした「トラブル」は何ですか？ 【複数選択】

選択肢	回答数	割合(%)
身体目的・ヤリモクだった	105件	30%
ドタキャンや音信不通になった	91件	26%
写真と実物が全く違った	56件	16%
身バレ・知り合いに遭遇した	42件	12%
トラブルには遭遇していない	35件	10%
暴言や不快な言葉を言われた	21件	6%
合計(延べ回答数)	350件	100%

【解説】

アプリ内でのトラブルとしては、「身体目的・ヤリモクだった」と「ドタキャンや音信不通になった」が全体の半数以上を占めました。

既婚者同士という制約上、関係性を急ぐユーザーや、家庭の事情などで急な予定変更が発生しやすいことが主な原因となっているようです。

また、最も恐れられる「身バレ」のリスクを感じた経験者も1割強存在しています。

4. サクラやトラブルに遭遇した際、利用していたアプリの月額料金帯は？【単一選択】

選択肢	回答数	割合(%)
3,001円以上	69人	23%
～1,000円	66人	22%
遭遇していない・覚えていない	60人	20%
1,001～2,000円	57人	19%
2,001～3,000円	48人	16%
合計	300人	100%

【解説】

トラブル遭遇時の利用料金帯は、比較的均等に分散する結果となりました。

特に「3,001円以上」の比較的高額な価格帯であってもトラブルが報告されており、料金が高いからといって悪質ユーザーが全くいないわけではないことが分かります。

5. 投資勧誘や金銭要求など「詐欺」目的のユーザーに出会いましたか？【単一選択】

選択肢	回答数	割合(%)
いいえ(出会っていない)	156人	52%
はい(他サイトへの誘導)	63人	21%
はい(投資・仮想通貨の勧誘)	36人	12%
わからない・判断できなかった	30人	10%
はい(直接的な金銭の要求)	15人	5%
合計	300人	100%

【解説】

「いいえ(出会っていない)」が半数を超える一方で、約4割弱のユーザーが何らかの詐欺目的と思われるアカウントに遭遇しています。

その中でも「他サイトへの誘導」が最も多く、次いで「投資の勧誘」が続きました。

不自然なURLが送られてきた場合や、マッチング後すぐにお金の話が出た場合は、業者である可能性が高いため警戒が必要です。

6. やり取りの中で気づいた「要注意人物」の具体的な特徴は？【単一選択】

選択肢	回答数	割合(%)

すぐにLINEなど連絡先を聞く	108人	36%
特に要注意人物はいなかった	60人	20%
お金や投資の話をやたらとする	51人	17%
プロフィール写真が完璧すぎる	42人	14%
会う場所を極端に指定してくる	39人	13%
合計	300人	100%

【解説】

要注意人物の特徴として最も多く挙げられたのが「すぐにLINEなど連絡先を聞く」という行動で、全体の4割弱を占めました。

メッセージのやり取りが浅い段階で外部の連絡手段に移行しようとするユーザーには、業者やヤリモクが潜んでいる可能性が高く、多くの利用者が危険信号として認識していることがアンケート結果からも読み取れます。

7.トラブルを避け、安全に使うために実践した対策や工夫は？【単一選択】

選択肢	回答数	割合(%)
顔写真をぼかす・公開範囲を絞る	96人	32%
個人情報(職場・最寄り)を伏せる	78人	26%

すぐに会わずメッセージを重ねる	72人	24%
昼間のカフェなど安全な場所で会う	33人	11%
料金が安すぎるアプリは避ける	21人	7%
合計	300人	100%

【解説】

トラブルを未然に防ぐための対策として、「顔写真をぼかす・公開範囲を絞る」「個人情報を伏せる」といったプライバシー保護に関する工夫が上位を占めました。

既婚者専用アプリの性質上、身バレ対策を最優先に行うユーザーが多いことが伺えます。

また、メッセージを重ねて相手を見極めるなど、慎重に距離を縮める姿勢も重要視されています。